

学校教育目標	・自ら学び、確かな学力を身につけよう。(知) ・違いを認め合い、思いやりの心をもとう。(徳) ・健やかな心と身体をつくろう。(体) ・社会の一員として自覚し、行動しよう。(公・開)					
	学校概要 創立 43 周年 児童生徒数: 596 人	学校長 山根 淳 副校長 小島 央巨	2 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 2	主な関係校: 奈良小学校・恩田小学校・桂小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	奈良中 ブロック 奈良中学校 奈良小学校 恩田小学校 桂小学校	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 「ひと・もの・こと」との関りを通して 豊かなコミュニケーションができる子ども 様々な視点で「観」の共有を図り、義務教育9年間で子どもを育む。 ・主体的・対話的で深い学びの推進 ・生徒会、小中合同の学校保健委員会、部活動交流の推進 ・子ども像を共有しながら、児童生徒指導や特別支援教育の情報交換や授業参観等の交流の推進
「学力」 「社会に適應する力」 「生きがいを見出す力」		

中期取組目標	社会に貢献する一員として、自分らしさを発揮し、生きがいと誇りをもって、幸せに生きる人の育成を目指し、中学校3年間、「夢・挑戦・共生」意識させて教育活動を展開していきます。 「夢(自分で考え、志や目標、やりたいことをもつ)・挑戦(夢の実現に向けて、失敗を恐れず、勇気をもって挑戦し続ける、努力し続ける)・共生(他者を認め、助け合いながら、より良い集団を創る)」 奈良中学校の教職員は「傾聴」「受容と共感」を大切に、生徒理解に努めます。日頃から生徒の「良いところを認めて褒める」ことを実践します。指導が必要な場面でも説得ではなく納得を引き出す指導・支援に努めます。 「率先垂範」「凡事徹底」を常とし、教職員は生徒にとって良き生きるモデルになるように努め、人間力を育みます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・校内で研究授業を行い、生徒が主体的、対話的で深い学びが行えるように授業改善に取り組みます。 ・授業におけるICT機器の活用を継続的に行い、「協働的な学び」の実践を目指します。 ・指導と評価の一体化に取り組み、特に「主体的に学習に取り組む態度」の評価について明確な基準を提示できるよう取り組みます。
担当	学習指導部	
徳	豊かな心の育成	道徳の授業をはじめ各教科において話し合い活動を中心とした授業づくりを行うことを通じて、他の人の考えや気持ちを想像したり、自分の考えや気持ちを伝えあい、わかり合うためのコミュニケーションに取り組んだりすることで、他の人との人間関係を調整する力を養い、他者の思いに寄り添う心情を育みます。
担当	生徒指導部	
体	健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・1校1実践運動として、昼休みに積極的に体を動かす習慣を推進します。 ・全校生徒が健康に学校生活を送るために、校内の課題を見つめ、それを解決するための手立てとなる事項を調べ、学校保健委員会や保健だより、食育だより等で発信します。
担当	保健安全指導部	
公	自分づくり教育 (キャリア教育)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己理解を促し、より良い自己の生き方について考え、自ら選択・決定する力を育成します。 ・職業講話や職場体験を通して、職業についての理解や地域社会への所属意識を高めます。また事前事後学習や振り返りを行い、自己の将来を考える機会を設定します。 ・進路学習では、情報を積極的に発信し、かつ適切な助言を通して、生徒一人ひとりの進路選択や自己実現に向けて必要な能力や態度の育成に努めます。
担当	特活指導部	
いじめへの対応		いじめの起きにくい風土づくりに邁進します。そのために起きない、起こさない努力、工夫をしていく。またいじめに対する認識力や、対応力を培い、いじめが発生した時には、迅速かつ丁寧に対応します。またいじめは絶対に許されないという共通理解をもち、毅然と対応します。また必要に応じて、外部機関と連携して対応します。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		教職員一人ひとりの力量の向上と個人の強みを活かした主体的でチーム力を最大限に発揮できる教職員集団を育成します。・対話を通して教職員の考えや想いの受容に努め、意欲喚起を図ります。・教員間で指導法を共有できるようにし、OJTを中心とした組織的な人材育成に努めます。・「報告・連絡・相談」体制が確立した風通しの良い職場づくりと全教職員参加型の組織運営に努めます。
担当	メンターチーム・教務	
特別支援教育		不登校生徒や、特別な支援を必要とする生徒を対象に、スクールカウンセラーや関係諸機関との連携を図りながら、全職員で組織的に支援します。また、横浜プログラムを活用した生徒理解、学級指導の推進や特別支援教室の効果的な活用、横浜どこでもスタディの推進を行います。
担当	生徒指導部	
地域連携		学家地連総会、保護者懇談会等の機会を活用し保護者、地域とのさらなる連携を図ります。また奈良ふれあいフェスティバルの企画、運営を通じて、地域と中学生の世代間を越えた交流を図ります。登下校や祭礼パトロールを実施し、地域で生活する生徒との交流や安全に対する啓発を促進します。
担当	地域連携部	
担当		